

新型コロナウイルス感染症サーベイランス週報: 発生動向の状況把握

2023年第24週(2023年6月12日~2023年6月18日)

COVID-19 weekly surveillance update: epidemiologic situational awareness

Week 24, 2023

本週報は、全国の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生動向を複数の指標を用いて精査し、まとめています。週ごとに「傾向(トレンド)」と「水準(レベル)」を明記し、感染の流行の状況について、解釈を行っています。地方自治体等の COVID-19 対策に従事する皆様や国民の皆様にも、広く COVID-19 に関する疫学情報を提供・還元することを目的としており、COVID-19 対策の参考として活用していただければ幸いです。なお巻末に週報に関する注意事項を記載してあります。直近の情報については、過小評価となる場合などもあるのでご注意下さい。

2023年5月8日より COVID-19 が感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)上の5類感染症に位置付けられました。COVID-19 の発生動向を重層的に把握する一環として、インフルエンザ/COVID-19 定点から報告された患者数に加えて、医療機関等情報支援システム(G-MIS: Gathering Medical Information System)に報告された入院患者数等の集計、及びゲノムサーベイランスの結果を報告します。

まとめ:

2023年第24週(6月12日~6月18日)における定点当たり報告数は5.60(報告数27,614人)であった。前週(6月5日~6月11日)に比較して漸増した。都道府県別にみると定点当たり報告数は2.81~28.74であり、最も高かったのは沖縄県であった。

全国の新規入院患者数は4,538人で、前週と比較して54人増加した。地域ブロック別にみると、高い順に前週比が1を超えているのは近畿、東海、沖縄、中国、関東地方であった。第24週のICU入院中の患者数の7日間平均は81人であった。ECMOまたは人工呼吸器管理中の患者数の7日間平均は40人で、ともに前週と比較して漸減から横ばいで推移した。

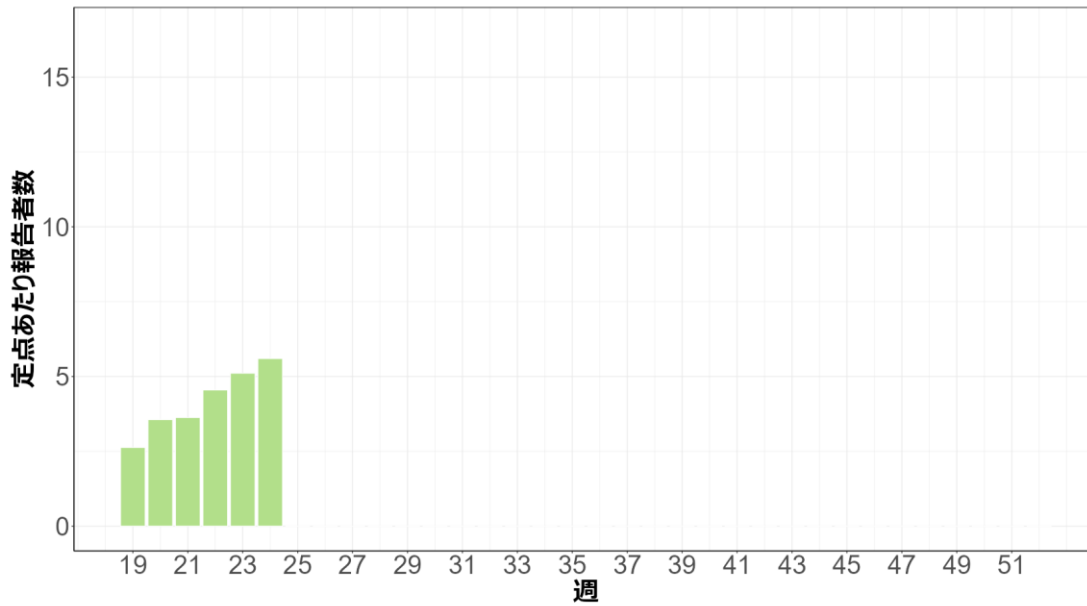
ゲノムサーベイランスでは、第23週(6月5日~6月11日)の民間検査機関のデータでは、XBB.1.16系統が25.1%と最も多かった。

1. 全国の状況

1.1. 全国の定点当たり報告数

2023 年第 24 週(6 月 12 日～6 月 18 日)における定点当たり報告数は 5.60 (患者報告数 27,614)人であった(図 1)。前週(6 月 5 日～6 月 11 日)の定点当たり報告数 5.11 よりも増加した。

図 1:全国の定点医療機関から報告された COVID-19 の定点当たり報告数

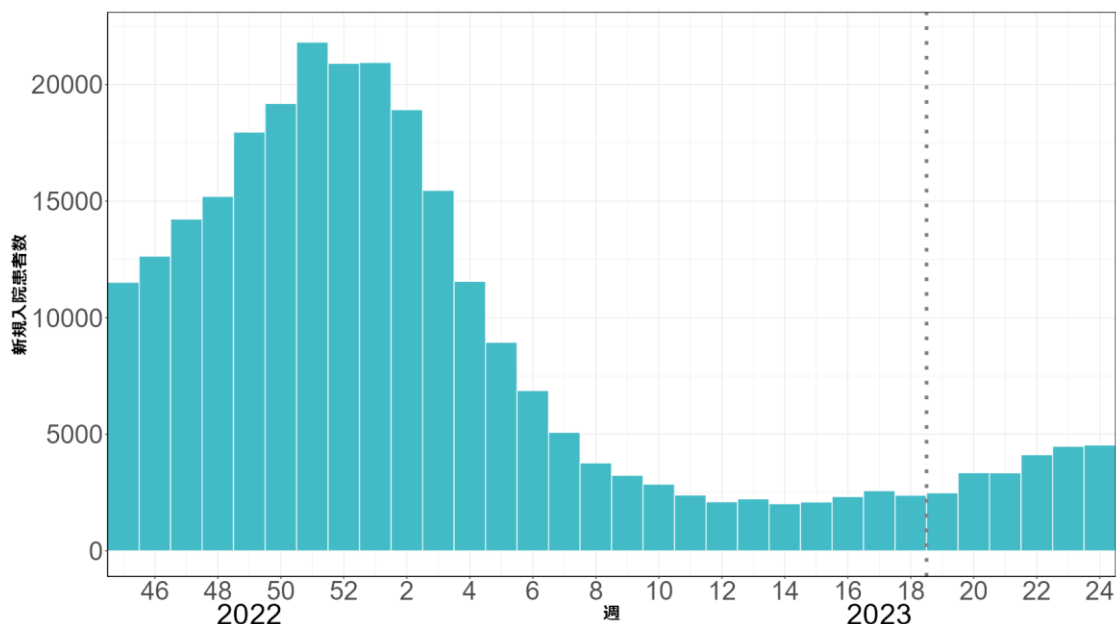


出典:感染症発生動向調査(2023 年 6 月 21 日現在, データ範囲:2023 年 5 月 8 日～ 2023 年 6 月 18 日)

1.2. 全国の G-MIS に報告された新規入院患者数

2023 年第 24 週に報告された新規入院患者数は、4,538 人であり、前週と比較して 54 人増加した(図 2)。

図 2:G-MIS に報告された新規入院患者数



出典:医療機関等情報支援システム(G-MIS)(2023 年 6 月 27 日現在, データ範囲:2022 年 10 月 3 日 ~ 2023 年 6 月 18 日)

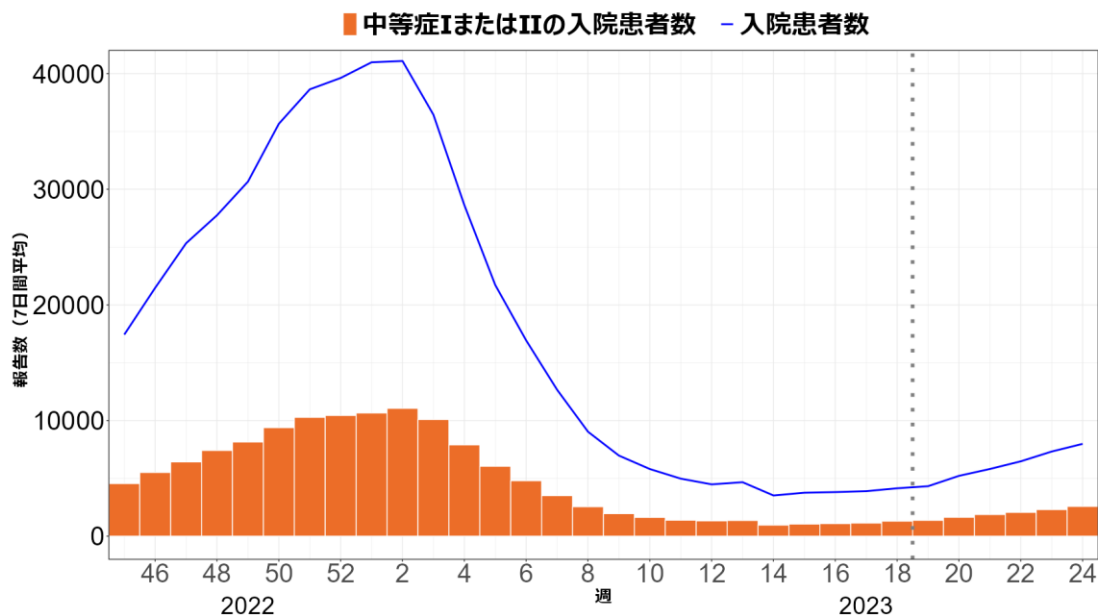
注)2023 年 5 月 8 日に 5 類移行後は入院動向が変化する可能性があり、注意が必要である。破線は新型コロナウイルス感染症が感染症法の 5 類に移行した 5 月 8 日を含む第 19 週を示す。

1.3. 全国の G-MIS に報告された入院患者数、中等症 I または II の入院患者数、ICU 入院中の患者数、ECMO または人工呼吸器管理中の患者数

2023 年 6 月 27 日に報告されている第 24 週における入院患者数の 7 日間平均は 7,982 人であり、前週と比較して 662 人増加した。中等症 I または II の入院患者数の 7 日間平均は 2,575 人であり、前週と比較して 276 人増加した(図 3A)。

また ICU(Intensive Care Unit)入院中の患者数の 7 日間平均は 81 人であり、前週と比較して 1 人増加した。ECMO(Extracorporeal membrane oxygenation)または人工呼吸器管理中の患者数の 7 日間平均は 40 人であり、前週と比較して 3 人減少した(図 3B)。

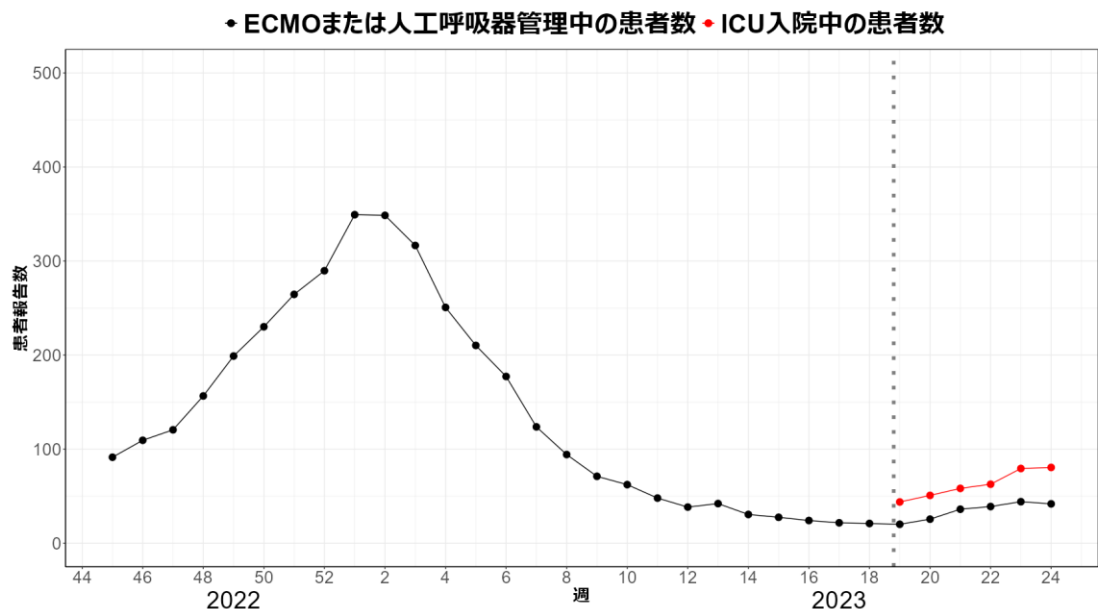
図 3A:G-MIS に報告された入院患者数及び、中等症 I または II の入院患者数の 7 日間平均



出典:医療機関等情報支援システム(G-MIS)(2023年6月27日現在, データ範囲:2022年10月3日 ~ 2023年6月18日)

注)2023年5月8日に5類移行後は入院動向が変化する可能性があり、注意が必要である。破線は新型コロナウイルス感染症が感染症法の5類に移行した5月8日を含む第19週を示す。

図 3B:全国の ICU 入院中の患者数及び、ECMO または人工呼吸器管理中の患者数の 7 日間平均



出典:医療機関等情報支援システム(G-MIS)(2023年6月27日現在, データ範囲:2022年10月3日 ~ 2023年6月18日)

注)ICU 入院中の患者数については、2023 年5月8日以降は独立した項目として報告が行われているが、5月7日以前は「ICU 入院中の全患者数」と「ICU 入院中の新型コロナウイルス感染症以外の患者数」の2つの項目として報告されており、定義が異なっている。破線は新型コロナウイルス感染症が感染症法の5類に移行した5月8日を含む第19週を示す。

1.4. 全国の年齢群別定点当たり報告数

2023 年第 24 週にインフルエンザ/COVID-19 定点から報告された患者数は、27,614 人であった。年齢群別の報告数を表 1 に示す。報告数の前週比は 1.1 であり、年齢群別にみると 0-14 歳が 1.11、15-59 歳が 1.09、60 歳以上が 1.11 であり、いずれの年齢群でも前週より増加した。

表 1:全国の年齢群別患者報告数

年齢群	報告数 (人)	前週症例報告数 (人)
0-14 歳	7,227	6,509
15-59 歳	14,792	13,604
60 歳以上	5,595	5,050
計	27,614	25,163

出典:感染症発生動向調査 (2023 年 6 月 21 日現在)

注)前週の届出数は、前週の IDWR で還元したデータの再掲である。

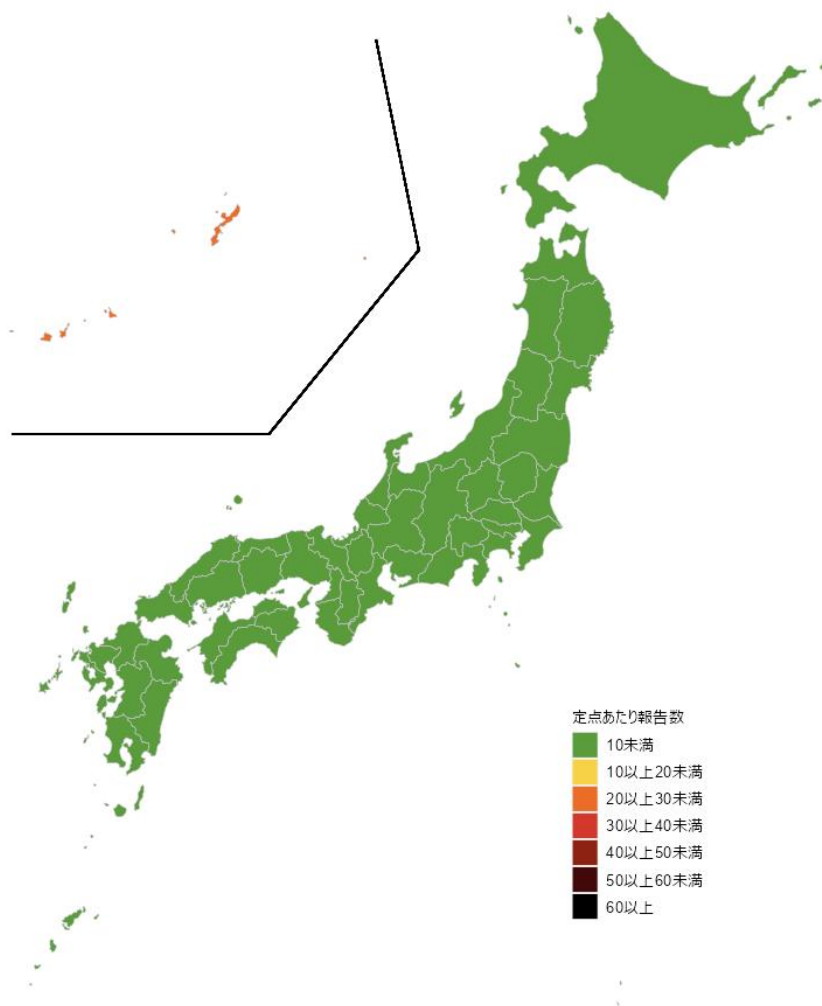
2. 地域別の状況

2.1. 地域別の定点当たり報告数及び新規入院患者数

第24週の都道府県別の定点当たり報告数は、2.81～28.74であった(図4)。沖縄県が28.74と最も高く、次に報告数が多かったのは鹿児島県で定点当たり9.60であった。沖縄県は前週比が1.5倍を超えており、その他にも静岡県(1.47倍)、宮崎県(1.42倍)など10県で1を超えている。

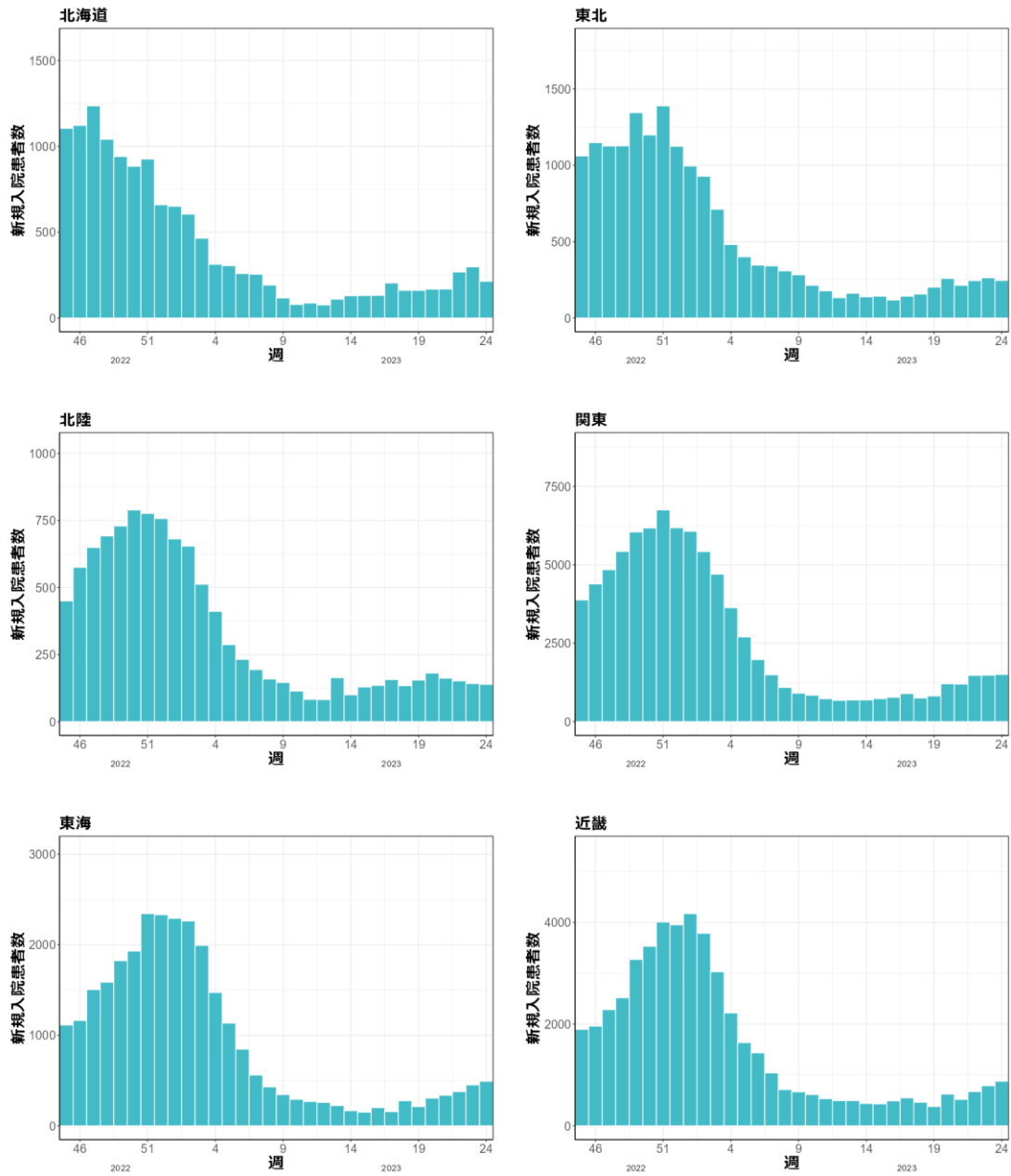
地域別の新規入院患者数では、第24週に最も患者数が多かったのは関東地方で1,504人であり、次いで近畿地方で877人であった。傾向としては関東、東海、近畿、中国地方および沖縄県で前週よりも多く報告された(図5)。沖縄県は他の地域と違い、前回の流行波のピークと同等の新規入院患者数が報告された。

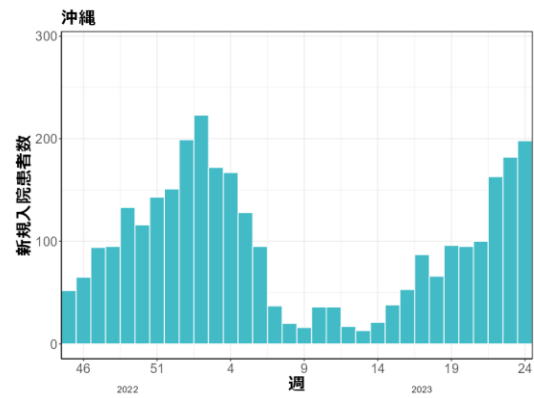
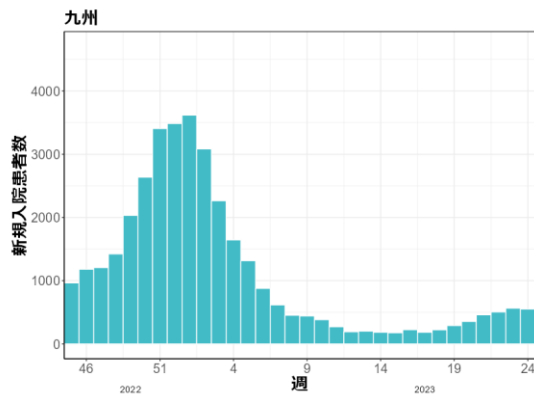
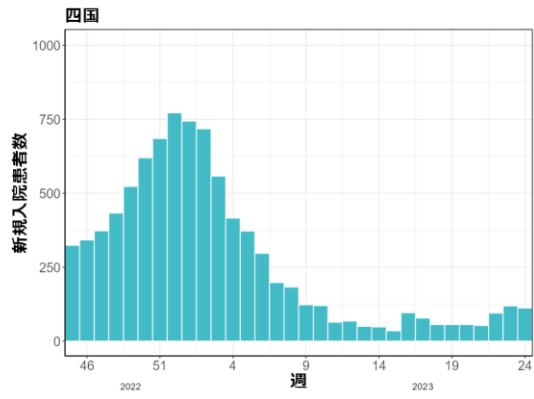
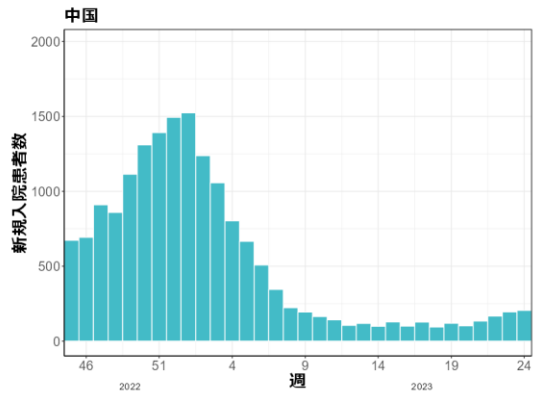
図4:都道府県別定点当たり報告状況



出典:感染症発生動向調査(2023年6月21日現在)

図 5:地域別に報告された新規入院患者数





出典:医療機関等情報支援システム(G-MIS)(2023年6月27日現在, データ範囲:2022年10月3日
 ~ 2023年6月18日)

3. SARS-CoV-2 ゲノムサーベイランス

2023 年第 23 週に民間検査機関(195 検体中)で検出された、XBB.1.16 系統は 49 検体 (25.1%)であり、XBB.1.9.1 系統は 15 検体(7.7%)であった(表2)。23 週から第 27 週にかけて、それぞれの亜系統の検出割合は XBB.1.16*系統が上昇傾向、XBB*系統が横ばい傾向、XBB.1.5*系統が低下傾向、XBB.1.9*系統が低下傾向と推定された(図 6)。多項ロジスティック回帰モデルでの推定であることから、信頼区間が亜系統によっては広いことに注意する必要がある(*下位系統を含む、各亜系統分類については、図注釈参照)。

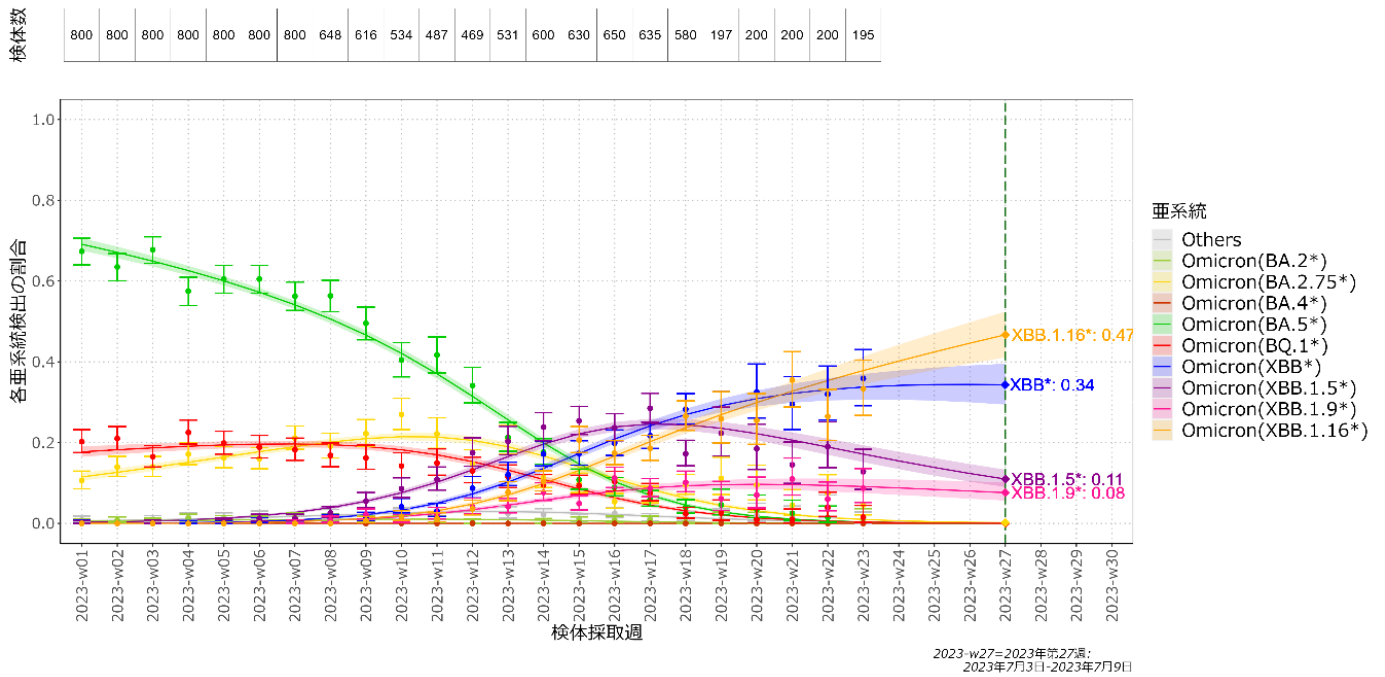
表 2:民間検査機関からの検体に基づく亜系統検出

Pango lineage (Nextclade 2.14.1)	検体数 (第23週)	割合
BA.2	11	5.64%
FR.1	3	1.54%
BN.1.2	2	1.03%
FV.1	2	1.03%
Others	4	2.05%
BA.5	6	3.08%
FB.1	2	1.03%
Others	4	2.05%
その他	178	91.28%
XBB.1.16	49	25.13%
XBB.1.9.1	15	7.69%
XBB.1.5	12	6.15%
EG.5.1	11	5.64%
XBB.2.3.2	9	4.62%
EG.1	9	4.62%
XBB.1.16.1	9	4.62%
FL.2	5	2.56%
FU.1	5	2.56%
FL.4	5	2.56%
XBB.2.3	3	1.54%
XBB.1.5.24	3	1.54%
FY.1	3	1.54%
XBB.2.3.3	3	1.54%
FY.3	2	1.03%
XBB.1.5.40	2	1.03%
FY.2	2	1.03%
EG.1.4	2	1.03%
XBB.1.9.2	2	1.03%
XBB.1.16.2	2	1.03%
EG.1.2	2	1.03%
XBB.1.5.1	2	1.03%
GE.1	2	1.03%
XBB.2.3.8	2	1.03%
Others	17	8.72%
総計	195	100.00%

出典:民間検査会社 2 社から提供されたゲノムデータ

注)※検出割合が 1%未満の lineage(“Others”)については lineage 名省略。検出割合が高い lineage (上位 3 位)は赤字で示す。lineage の定義については以下のサイトのリストを参照。https://cov-lineages.org/lineage_list.html

図 6:民間検査機関からの検体に基づく亜系統検出の推定



出典:民間検査会社 2 社から提供されたゲノムデータ

注)点は検体採取週ごとの亜系統の検出割合、バーは 95%信頼区間の上限と下限を表す。亜系統が占める割合の推定を各色ライン、95%信頼区間を淡色帯で示す。Omicron(BA.2*)は BA.2.12.1*、BA.2.75*を除く。Omicron(BA.5*)は BQ.1*を除く。Omicron(XBB*)は XBB.1.5*、XBB1.16*および XBB1.9*を除く (* 下位系統を含む)。

週報に関する注意事項

サーベイランス指標としての入院例、中等症・重症例は、報告に遅れの時間差はあるが、軽症例・無症候例と比較して、受診行動、検査対象の変化によるサーベイランスバイアスをより受けにくい。複数の指標を用いて状況・疫学の変化を迅速に捉え、リスク評価と適切な対応につなげることが重要である。

感染症発生動向調査では、インフルエンザ/COVID-19 定点としてあらかじめ指定された医療機関から週単位で報告される患者数について、全国及び都道府県ごとに集計した数値を用いている。都道府県別の定点当たり COVID-19 の報告数と、性別・年齢階級別報告数については感染症発生動向調査週報(IDWR)を参照されたい。

インフルエンザ/COVID-19 定点は、小児科定点が内科定点に比べ、多く選択されている。このため報告数は小児に偏ることから、定点から報告された COVID-19 症例に占める各年齢群の割合については、この点を考慮する必要がある。一方、経時的な流行全体の傾向(トレンド)と水準(レベル)の把握、年齢群毎の傾向と水準の評価の観点においては影響を与えない。

入院データでは、G-MIS における「入院中の新型コロナウイルス感染症患者数」のうち、新規入院患者数は「うち新規入院」、中等症 I または II は「うち、中等症 I の患者数(呼吸不全なし)」と「うち、中等症 II の患者数(呼吸不全あり)」をあわせたもの、ICU 入院中の患者数は「うち ICU 入院中の患者数」、ECMO または人工呼吸器管理中の患者数は「うち人工呼吸器管理中(ECMO なし)の患者数」と「うち ECMO 管理中の患者数」をあわせて集計している。

また、新規入院者数は日次集計、入院患者数、中等症 I または II の患者数、ICU 入院中の患者数、ECMO または人工呼吸器管理中の患者数については7日間平均値を算出し集計している。なお、中等症 I は呼吸不全なし

と医師が診断したものであり、中等症 II は、呼吸不全があり酸素投与を要すると医師が診断したものである(参考:「新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き 第 9.0 版」)。

集計には G-MIS に報告されたデータのうち直近 1 週間は集計日時点のデータを、それ以前はデータを再掲している。遅れて報告されたり、修正されたりする場合があるため集計値は暫定値であることに注意が必要である。

年末・年始(第 52 週～第 1 週頃)、ゴールデンウィーク(第 18 週頃)、お盆(第 33 週頃)、シルバーウィーク(第 39 週頃)等の週では、報告数が減少する傾向があり解釈には注意が必要である。なお、祝日、休日の並び等によって該当する週は年によって異なる。

地域の定義

北海道

東北地方: 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東地方: 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県

北陸地方: 新潟県、富山県、石川県、福井県

東海地方: 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿地方: 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国地方: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国地方: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州地方: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

沖縄県

参考サイト

国内の発生状況など

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html>

新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 関連情報ページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/covid-19.html>

自治体・医療機関向けの情報一覧(事務連絡等)(新型コロナウイルス感染症)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00088.html

医療機関等情報支援システム(G-MIS) 関連ページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00130.html

感染症発生動向調査 週報(IDWR) ページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

SARS-CoV-2 変異株について

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2624-flu/12055-flu2-1-1.html>